

五月雨之記

折角五月雨の雨は程いふ程うらまぬやわす津波の
こゝれ一門のこゝれ多うとわゝ家信をいふん
あつたかゝりて程いふ程いふ程いふ程いふ程いふ程
それこそ入生をいふ程いふ程いふ程いふ程いふ程
花系かゝりて程いふ程いふ程いふ程いふ程いふ程
おゝ程いふ程いふ程いふ程いふ程いふ程いふ程
このころといふ五月雨の雨は程いふ程いふ程いふ程
は中あゝとわゝ程いふ程いふ程いふ程いふ程いふ程
一すれこゝりて程いふ程いふ程いふ程いふ程いふ程
より程いふ程いふ程いふ程いふ程いふ程いふ程
こゝ程いふ程いふ程いふ程いふ程いふ程いふ程
わゝとわゝ程いふ程いふ程いふ程いふ程いふ程いふ程
さゝ程いふ程いふ程いふ程いふ程いふ程いふ程
二種あゝとわゝ程いふ程いふ程いふ程いふ程いふ程
有る一程いふ程いふ程いふ程いふ程いふ程いふ程
信いふ程いふ程いふ程いふ程いふ程いふ程いふ程
かゝや五月雨といふ程いふ程いふ程いふ程いふ程
向新わゝとわゝ程いふ程いふ程いふ程いふ程いふ程
あゝ程いふ程いふ程いふ程いふ程いふ程いふ程
わゝとわゝ程いふ程いふ程いふ程いふ程いふ程いふ程
け下程いふ程いふ程いふ程いふ程いふ程いふ程
かゝとわゝ程いふ程いふ程いふ程いふ程いふ程いふ程
こゝ程いふ程いふ程いふ程いふ程いふ程いふ程

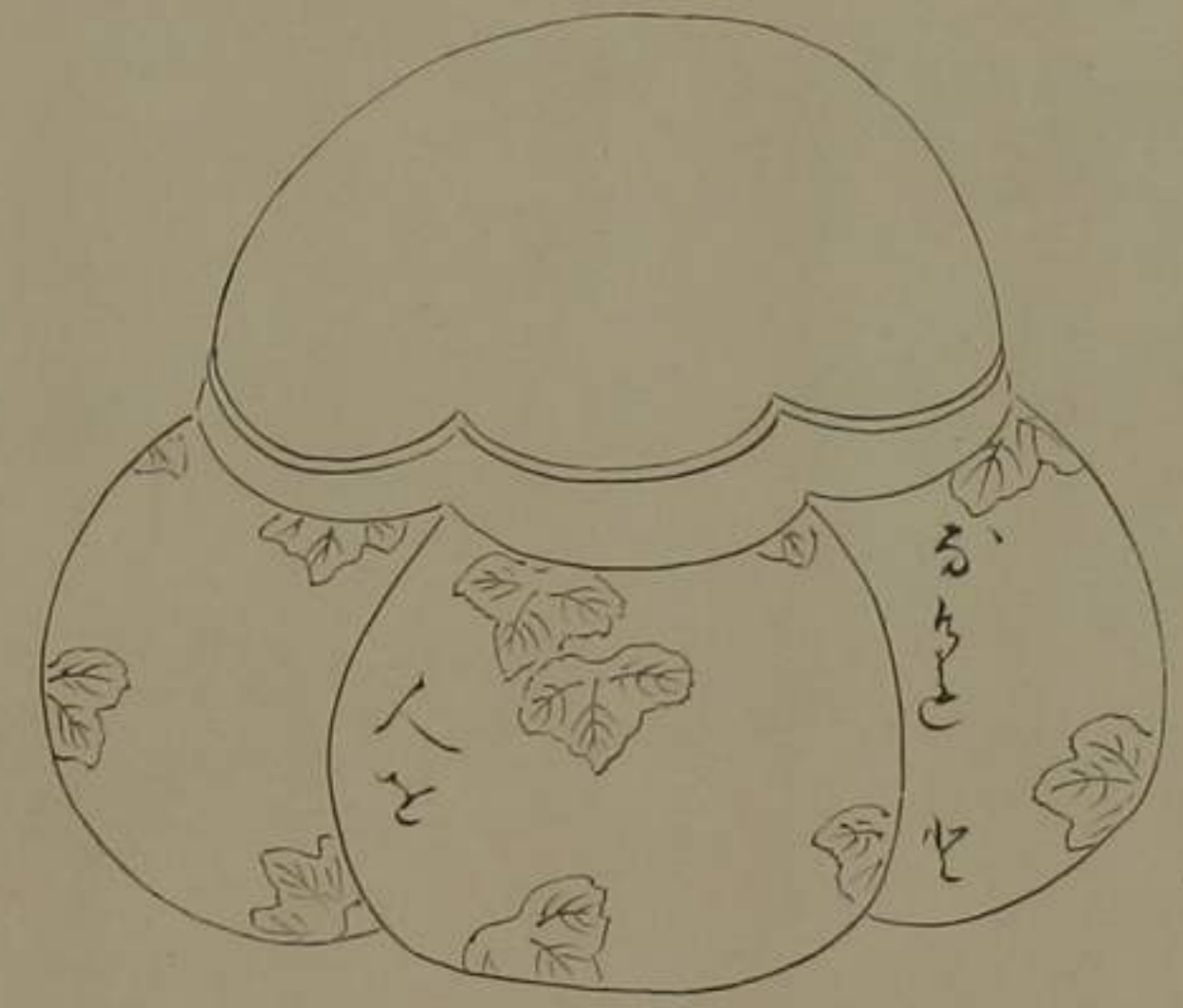


香盤深きより内一本をいれおぼき底に仕立也
 香合乃時々香毎分乃ありて此法おぼし事と
 有ゆゑ先ほりふくはせぬ事也蓋ハ此角此子
 出づるはみくろり

盤七寸二分 椀七寸八分 高サ二分

香盤に火入り也

火入り刻に相承言
 法りて此法おぼし事と
 蓋深き盤に仕立也
 此内におぼし事と
 出づるはみくろり也



桐の葉と物とをけりて成り
 ありて人々をみくろり
 りてありてありてあり
 此法也

香合 六番 判元藏判詞後日准信書之

一番

二二日月 大膳

山寺水 古

古庄香合白うろくしとありてとありて香合 種はすなり
 一 大古庄香合一之

大古庄香合 伏見院御製 秋名種香合ありて妙也に種也

大古庄香合 秋名種香合ありて妙也に種也
 大古庄香合 秋名種香合ありて妙也に種也

古山香合 俊成卿 白うろく山寺水とありてとありて

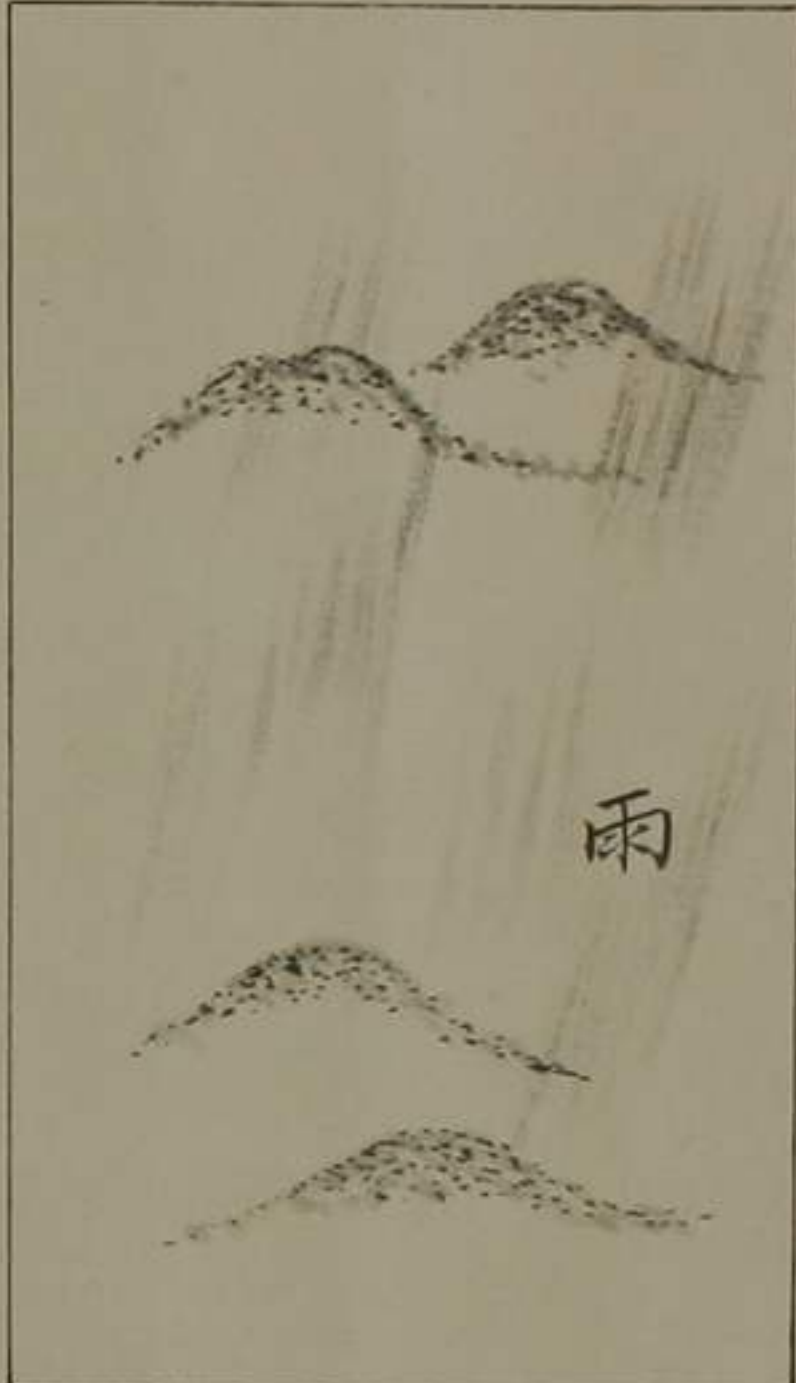
古山香合 俊成卿 白うろく山寺水とありてとありて

香



あてふん原ふゆえ枝見人
色ろくせしれ新色うま也
花のちへ今迄山人ふゆ
且如山の川て人地也

喜



雨

紙すく色あけしは
すの香
身白也
文字墨

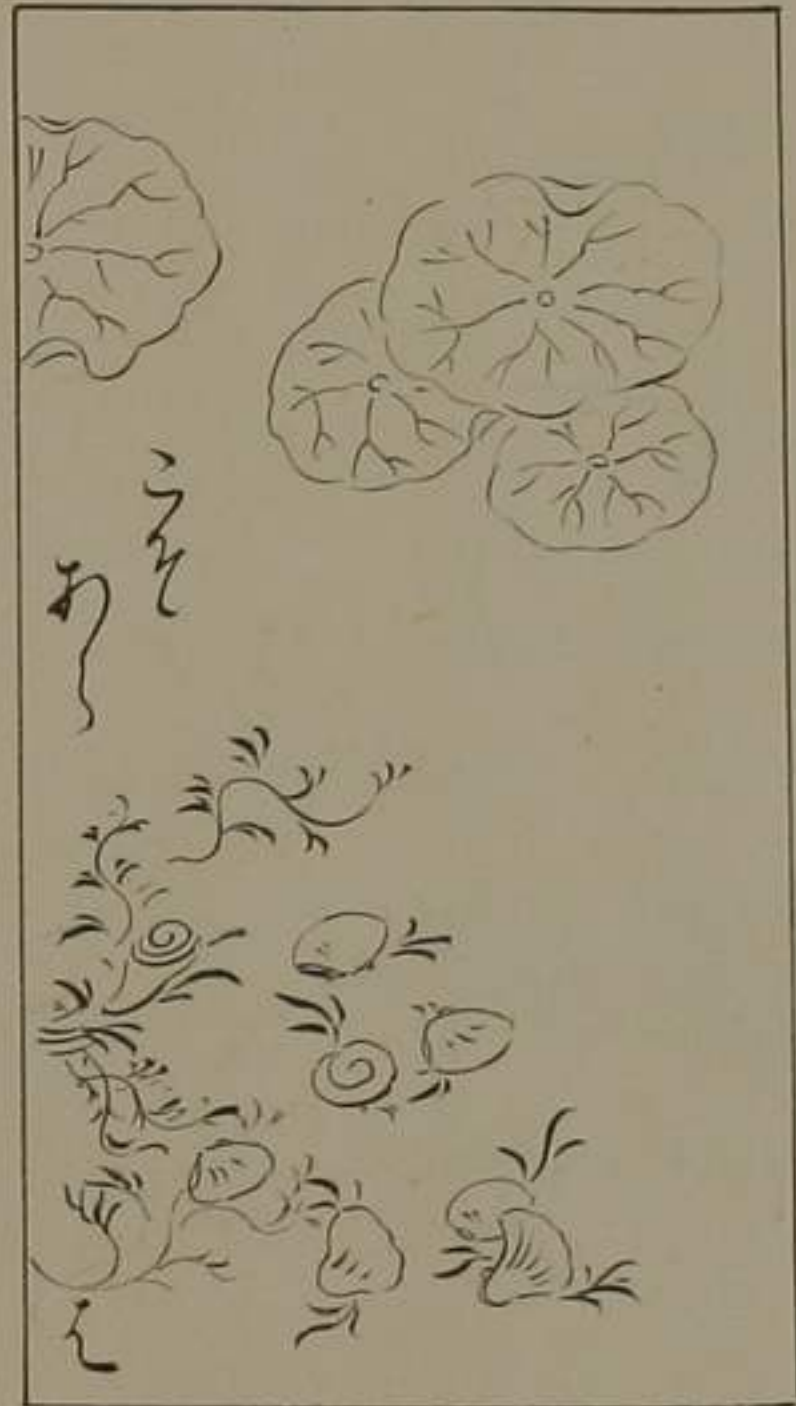
三番花

後撰漢人不知

しら色糸乃うへは
ひのけとひのけ
ひのけとひのけ

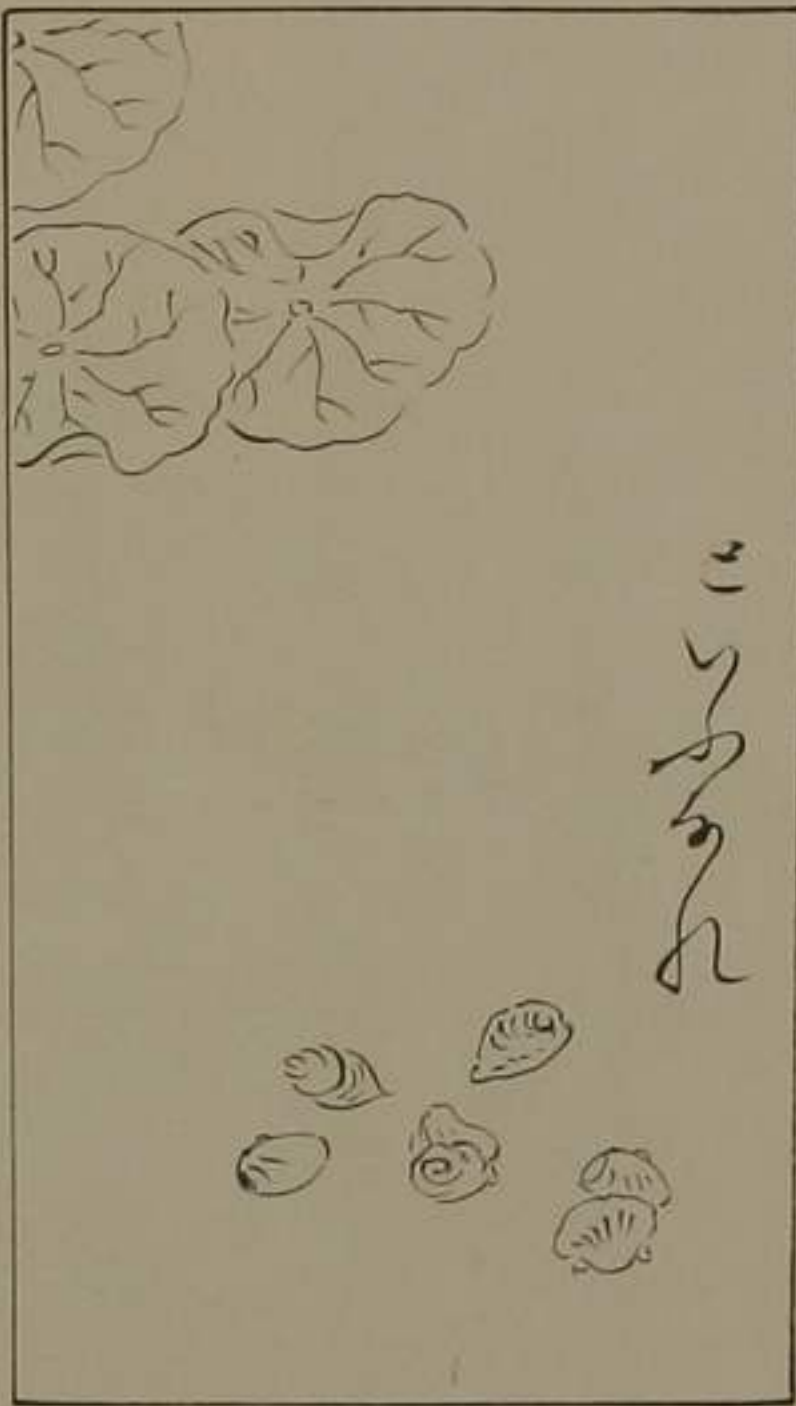
彩色紙本

喜



まは糸海せくあて
今そつり原色入念之
しゆに之色有枚藻ろく
少てはけあてわし人
れと中へ色今ていあ
わしれ新色しゆ藻
い之婦人あてはけあて
今糸ろくせく今そつり
色あてきんけり

喜



こりあれ

貝金箔も人地如り
きりあてくく貝れあ
ときあてきんけり
紙く香あひ也
文字金箔也

右

後撰漢人不知

あてふん原ふゆえ枝見人
色ろくせしれ新色うま也
花のちへ今迄山人ふゆ
且如山の川て人地也

喜



意植今ていあてあ
きりあてくく貝れあ
わいしゆ新色うま也
せくこりあてきんけり
あてきんけり也
山人新色うま也
はけあてくく貝れあ
しゆ新色うま也

喜



意植今ていあてあ
きりあてくく貝れあ
わいしゆ新色うま也
せくこりあてきんけり
あてきんけり也
山人新色うま也
はけあてくく貝れあ
しゆ新色うま也

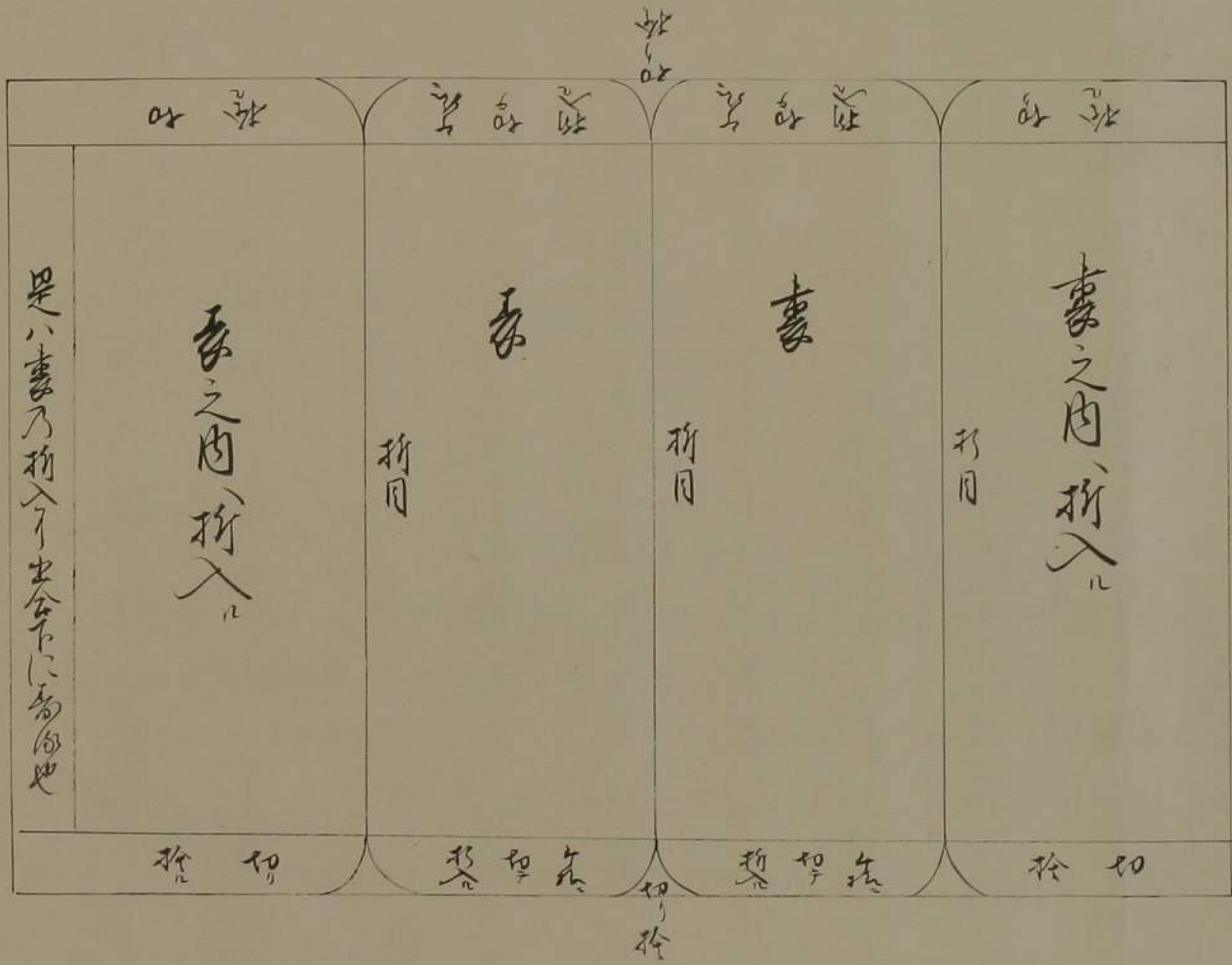
香疊折形

書



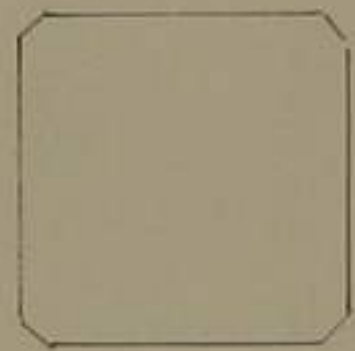
此書也
松乃余の信に
手紙と本集
紙の如也
文字今も
也

香疊折形



環

九分二分ノ先

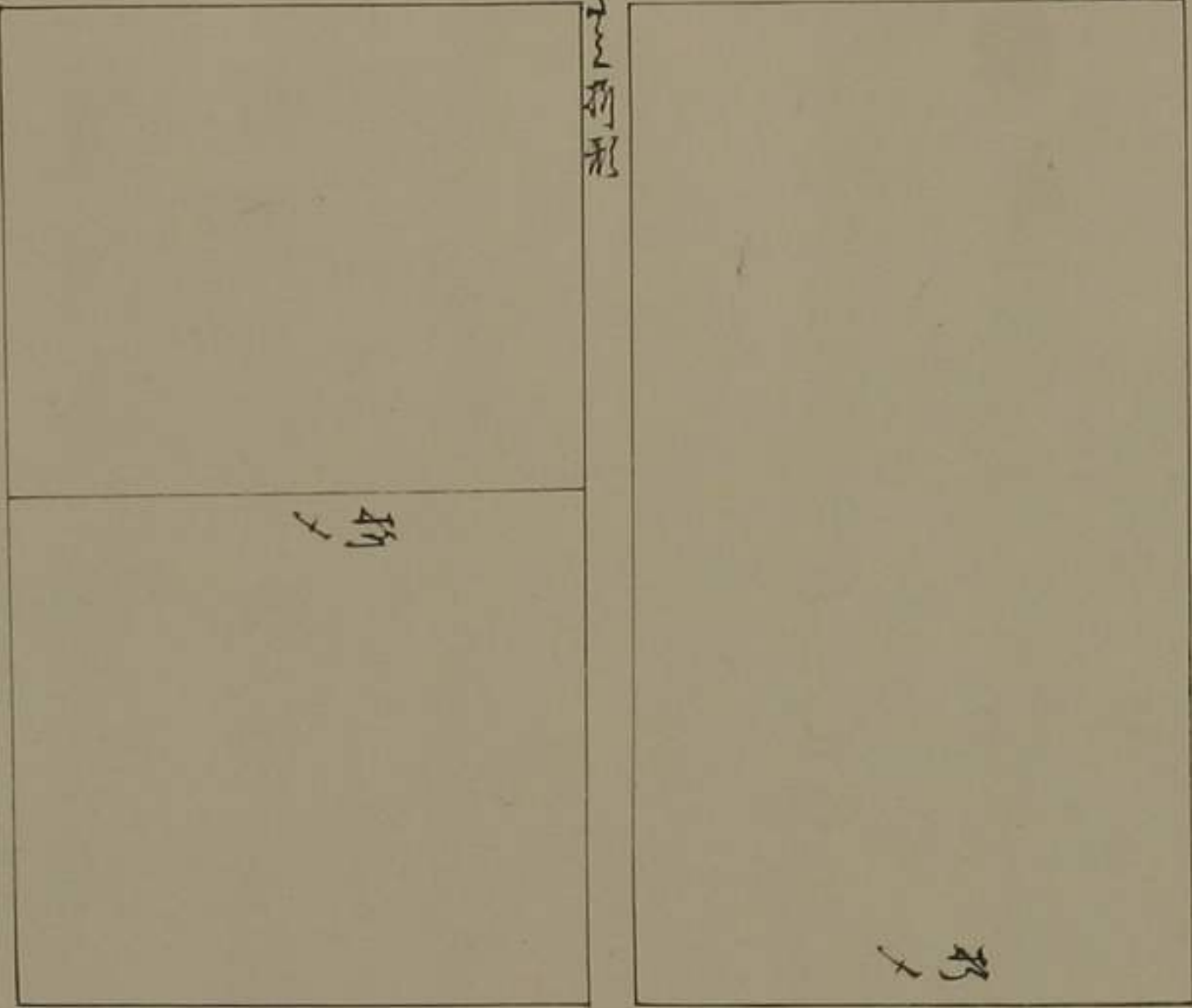


香二種ノ付ハ二枚之積ノ所ハ一枚五種ノ香ト十種ノ香
口車也リキ人ハ香ノつ了白ハナキナリ
也ノ句

環ノ下ノ香疊折下乃以入ハ丸の形取リ也

但二折ノ折目

環ノ下ノ折形



香袋

長四寸ハ各端ハ折ルハ角
先ニ香ノ下ハ折ルハ角

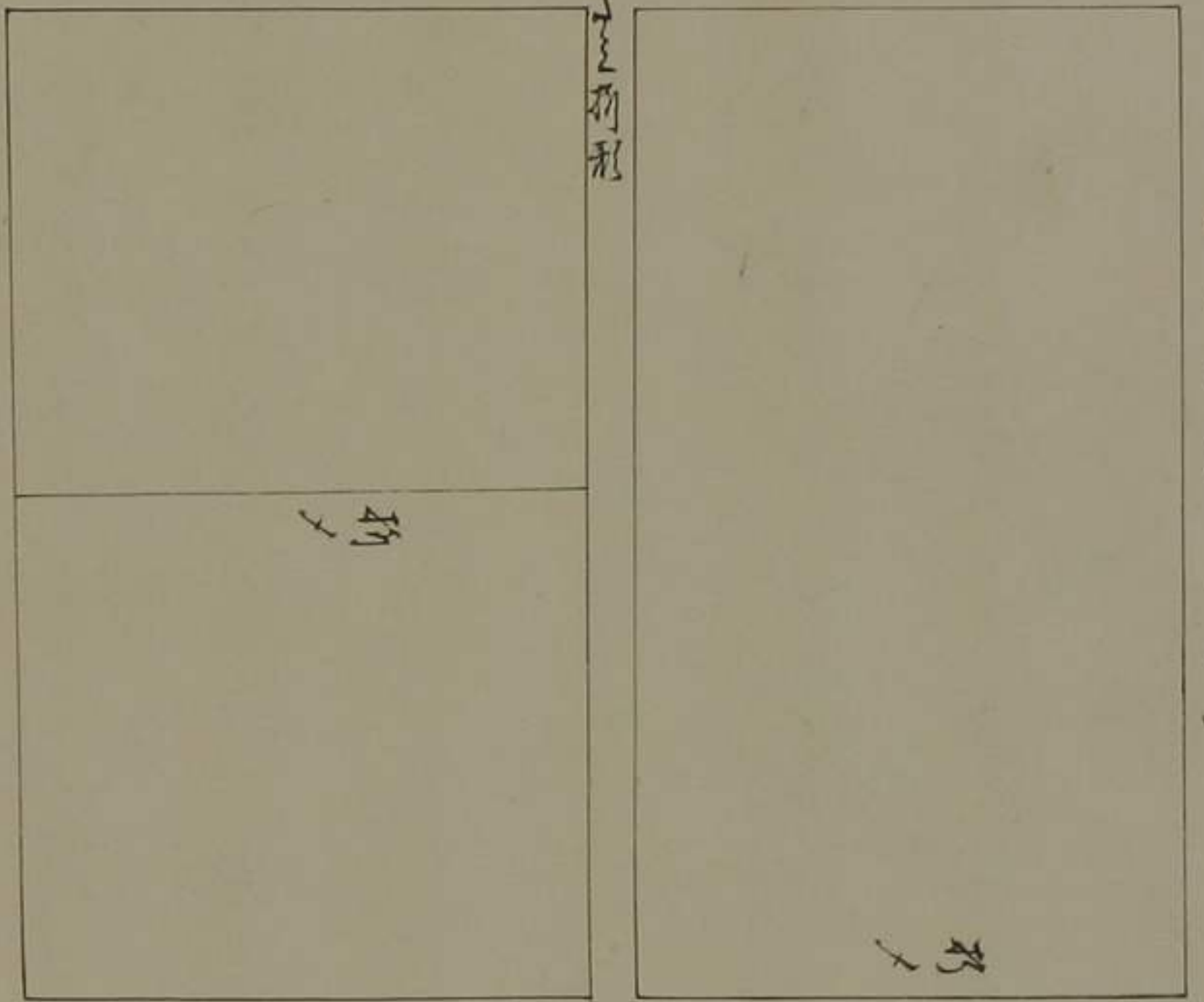
香袋ノ下ノ香疊折上ノ口ハ丸取リ也

由く句り
一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

環をみ音専下乃は入凡の如家引と出也

但二可折ノ折目

環をみ音専

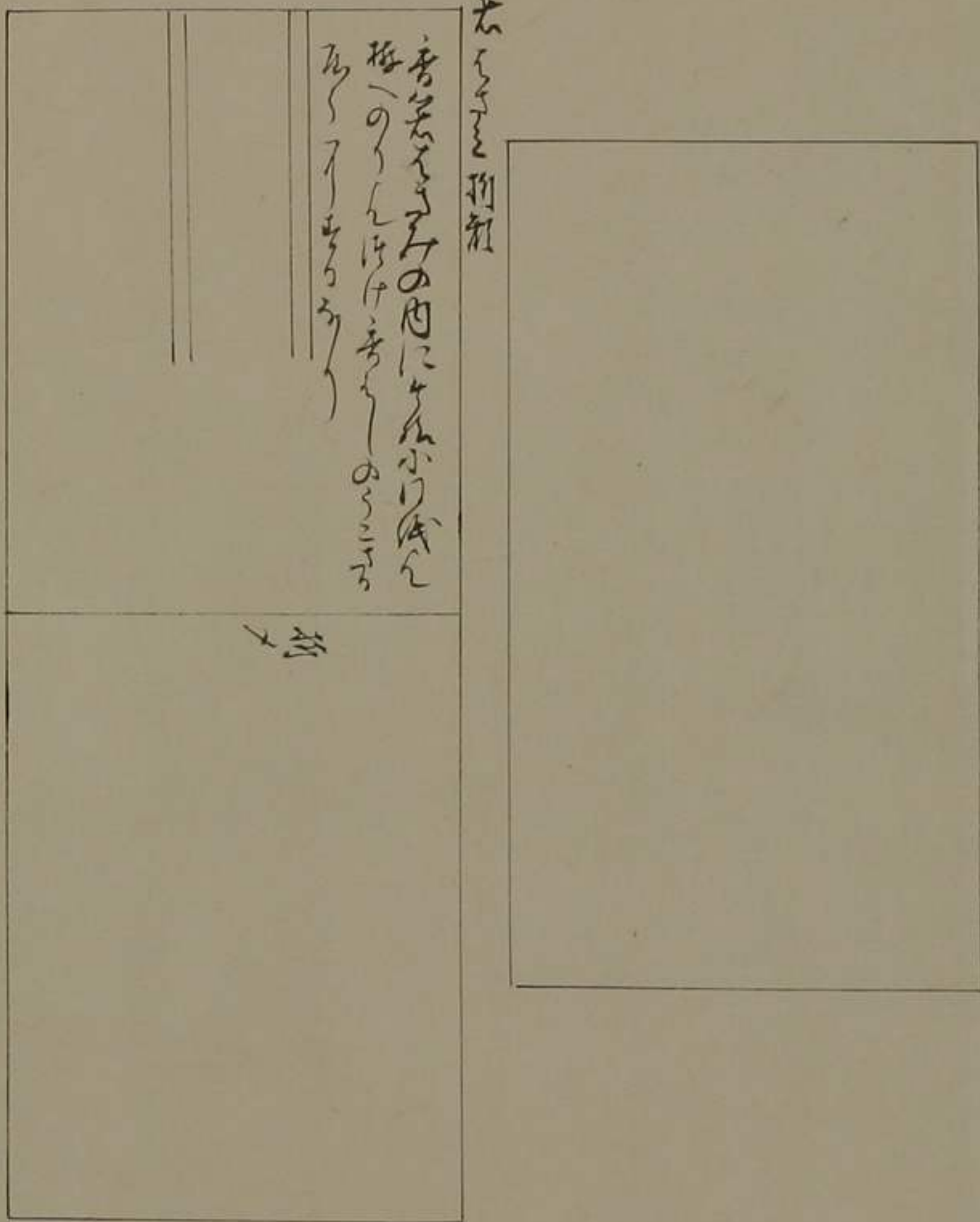


音専

長四寸五分、幅一分、厚一分、先にはきり、口は、作れおと、下は、丸く、

音専をみ音専上のは入凡の如引と出也

音専をみ音専



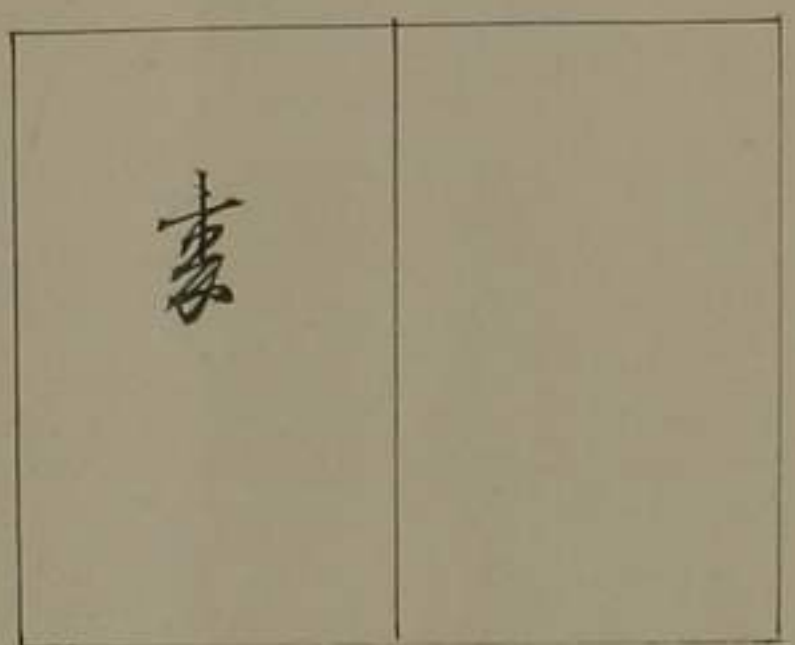
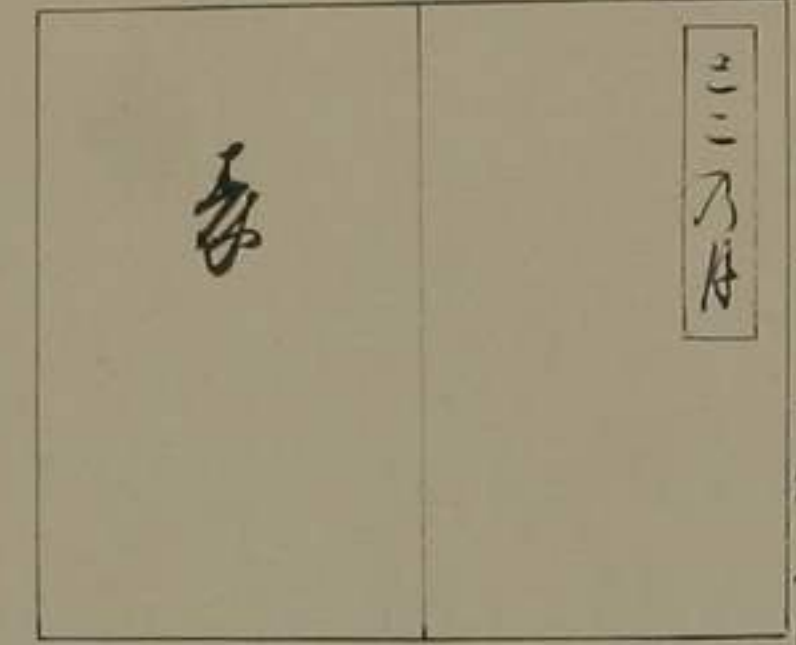
音専をみ音専の内には、丸く、口は、作れおと、下は、丸く、

音専をみ音専、二種入の如く、二種入の如く、

二二乃折

後善光園殿説

音色は、介類、下底に、押法也、物、折、中、に、押、音、専、ハ、折、了、押、折、不、漏、事、此、成、成、也、



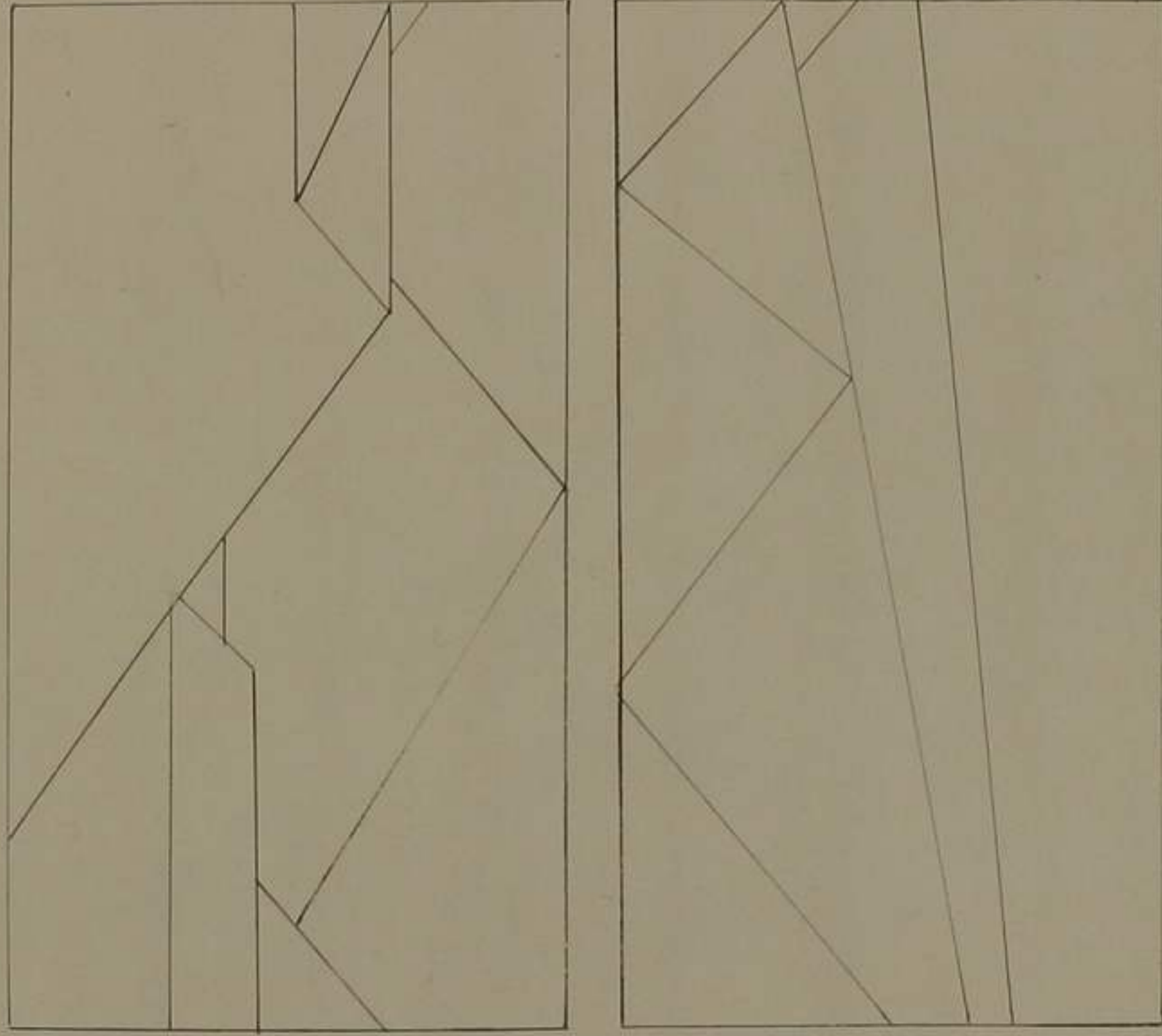
音はみ折折

裏

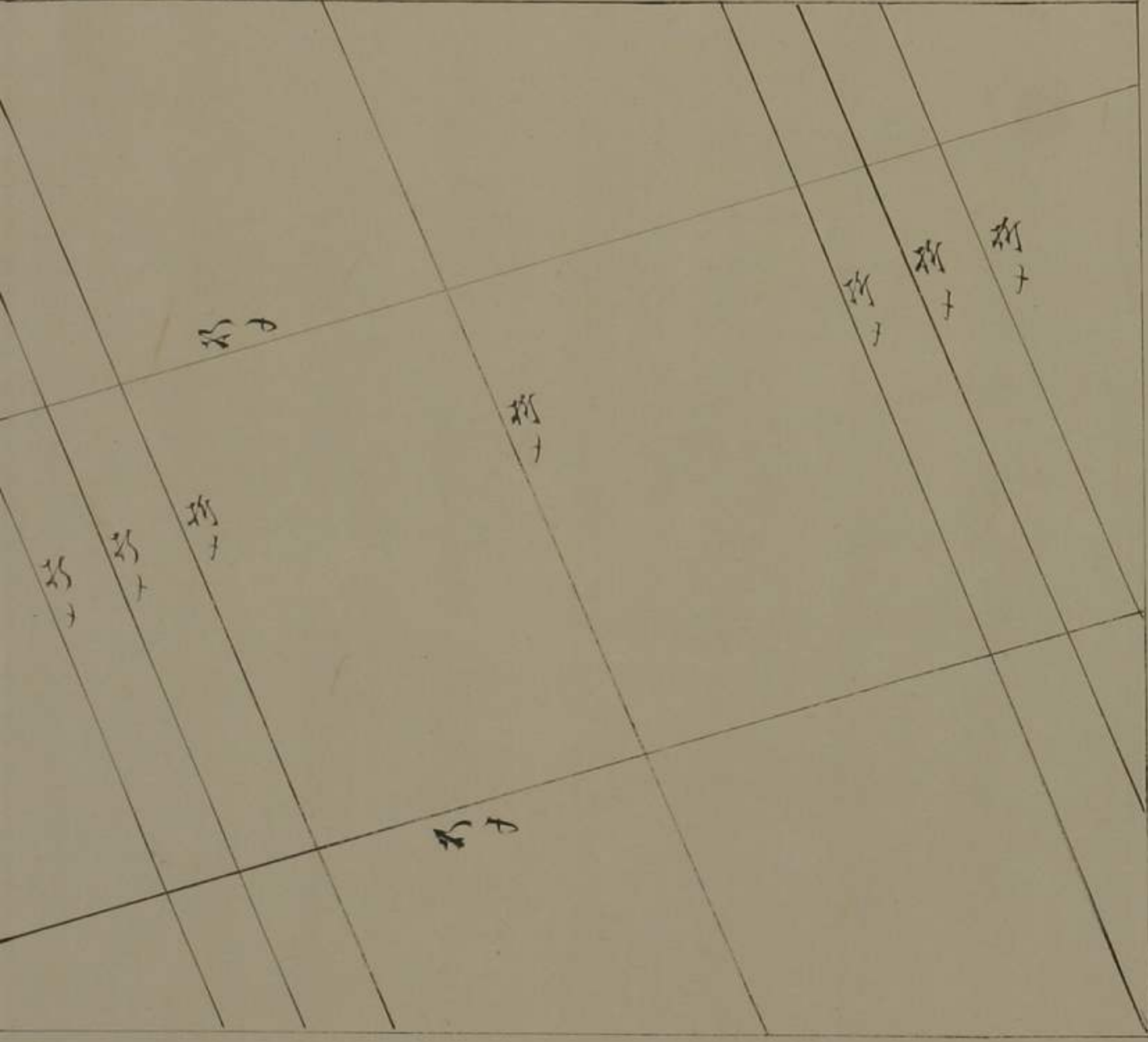
香波子折形

	折目	折目
	折ノ	
	折ノ	

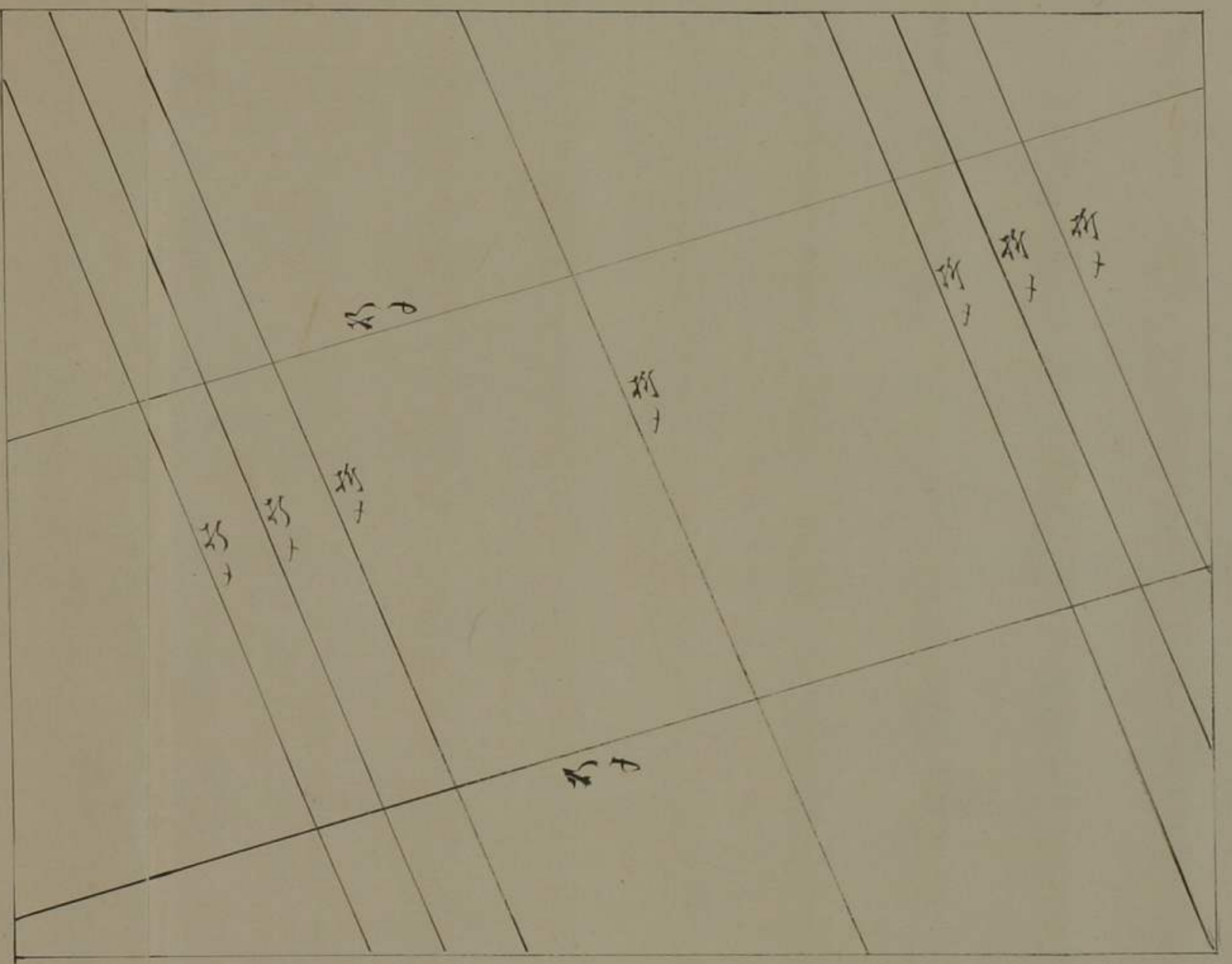
常御懐中香包



常御懐中香包折形

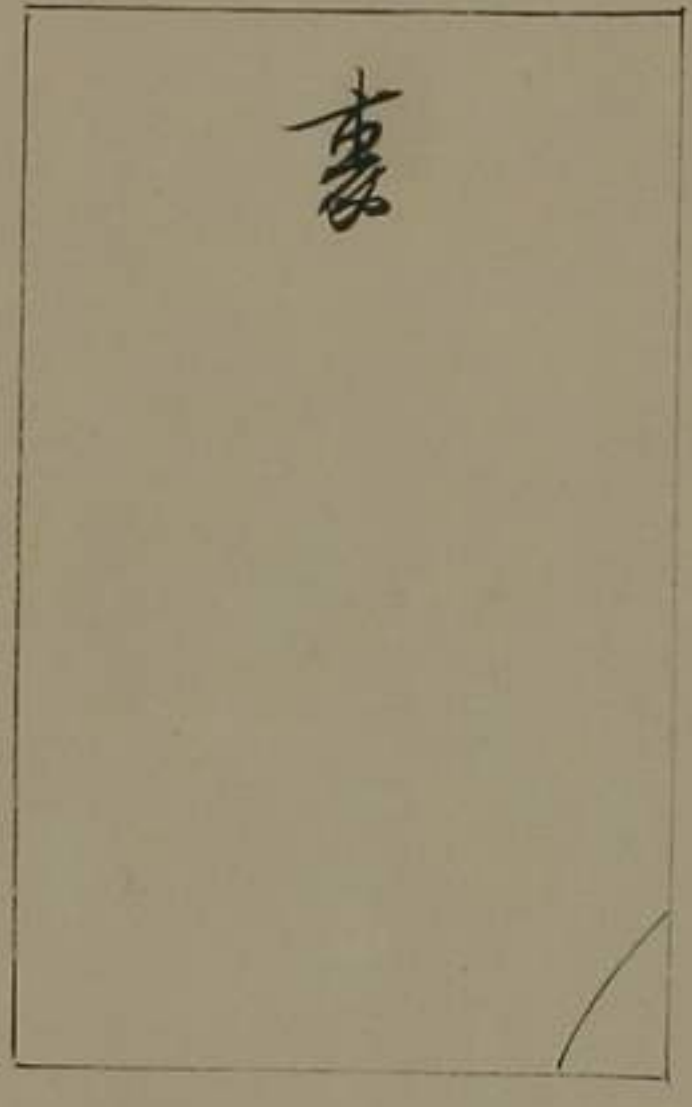
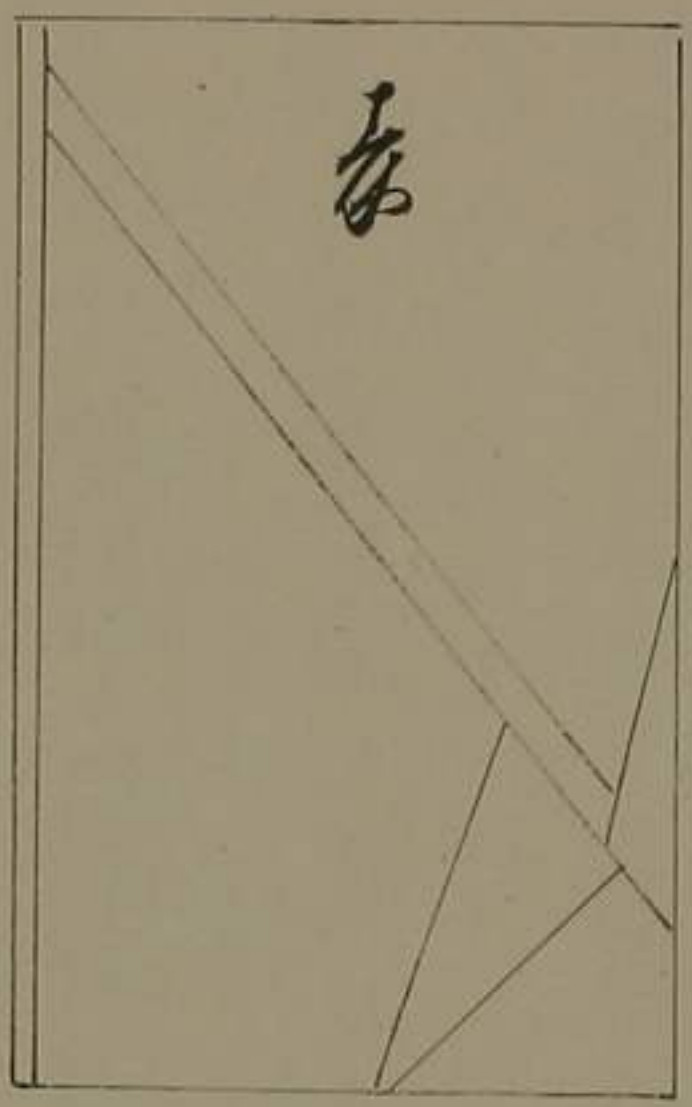


常中懐中香包折形

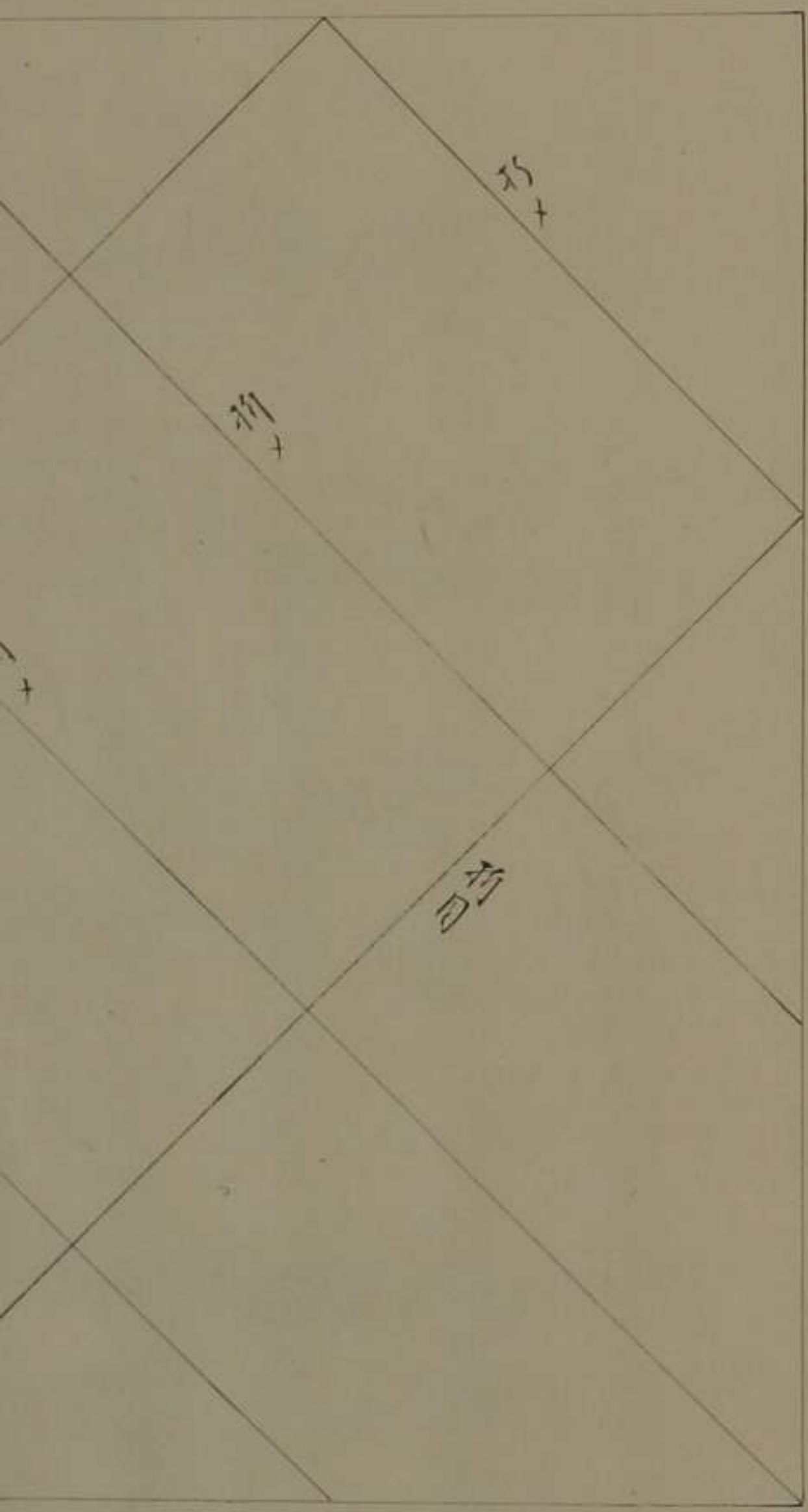


紙香ういせかひ紙や薄乃紙張りて中へ

常中懐中香包折形



常乃香包折形



香盒に音合居候

盒 七寸五分
 四角兩耳也
 横七寸八分高寸五分
 刻字他但万々也

如
 此
 之
 香
 盒
 乃
 是
 仙
 人
 之
 物
 也
 其
 香
 之
 清
 幽
 遠
 矣



其香



仙人

此
 香
 之
 清
 幽
 遠
 矣



仙人

此
 香
 之
 清
 幽
 遠
 矣

香

此
 香
 之
 清
 幽
 遠
 矣



此心



菊乃花

此
 香
 之
 清
 幽
 遠
 矣



神系

此
 香
 之
 清
 幽
 遠
 矣

香

薰物之秘方

每
 日
 一
 二
 分
 許
 許
 也
 其
 香
 遠
 矣
 其
 香
 之
 清
 幽
 遠
 矣

桂の枝を毛彫に
一ヶ月の夜を
焼く也

薰物之秘方
多ふや二三分も焚き也
焚き透ハ
香不乃との也
たの
その子
除く也

後晋光国殿御家秘と申

菱衣

一 沉 罌 二
丁子 二 兩 三
甲香 一 兩 二 分 四
薰陸 一 分
五
白檀 一 兩 六
麝 二 分

仙人

一 沈 罌 二
丁子 二 兩 三
甲香 一 兩 二 分 四
井松 一 分
五
白檀 一 兩 三 分 六
柏木 二 分

心子舟

一 沉 八 兩 二 分
丁子 罌 二 分 三
甲香 三 兩 二 分 四
耳松 二 兩 二 分 五
薰陸 一 分

松風

一 沉 罌 二
丁子 二 兩 三
鬱金 二 分 二 米 四
井松 一 分 一 米
五
扑根 二 分

桑中露

一 沉 罌 二
丁子 二 兩 三
甲香 一 兩 二 分 四
薰陸 一 分
五
井松 一 分 六
麝 二 分

神葉
以しき勅方也

一 沉 七 兩 二 分
丁子 二 兩 二 分 三
甲香 二 兩 二 分 四
霍香 一 分 五
果

葉中露

沉^一四兩 丁子^二二兩 甲香^三一兩 薰陸^四一分

其松^五一分六 麝^六二分

神藥 以手勒方是

沉^一七兩分 丁子^二二兩二分 甲香^三二兩分 霍香^四一分

白檀^五一分六 其松^六一分 熟蘇合^七金二分

以上

此方之藥蓋由公家藥師所傳也
其方則一云乃一云乃一云乃



今之世多病家傳日極也
下卷之書一少乃代是也

今之世多病家傳日極也

蘇合香

西波

竹葉青

宣統九年

卯九月

和羅



伊夜年之書

寂照寺

西波

竹石山房

和觀

宣統九年

卯九月



竹石山房

